

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

## 私たちの地球を守るために

泉崎村立泉崎中学校

3年 熊井 美紀

学校の授業で、税理士の方から税についてのお話を聞く機会がありました。その中で特に興味を持ったのが税の種類が多さです。知らないうちに払っている間接税や、払っていることを認識できる直接税などの中にも様々な税があることを知りました。そこで、私はもっと税の種類について知りたくなり、配布されたパンフレットに書いてある税以外の、特別な税がないか、インターネットで調べてみました。すると、地球温暖化防止のための税という文字を見つけ、何か考えさせられる責任のようなものを感じました。

地球温暖化防止という言葉は、テレビや新聞でよく取り上げられています。学校の授業でも意見を交わしたことがあるので、ずっと以前から知っていました。しかし、それに関する税があるとは知りませんでした。環境税の一種である「炭素税」というものです。

地球温暖化の最大の原因となっているのは二酸化炭素です。それを排出する石炭、石油、天然ガス、ガソリンなどの化石燃料に税金をかけて、それらの原料を使った製品の価格を上げることで、私たちがあまり買わないようにして二酸化炭素排出を抑える仕組みです。

私は、環境税というものがあることをみんなに知ってもらいたいと思います。私の周囲の人たちは誰も知りません。このまま地球温暖化が進むと地球が危機的状況になるので、国が導入した税なのです。企業だけではなく、私たち一人ひとりが、二酸化炭素排出を減らす努力をしなければなりません。

私が常日頃気をつけていることは、ゴミの分別です。リサイクルできるものはもちろん、燃えるゴミを捨てる時は一番気を使います。なるべくその量を少なくするように、物を大事に使ったり、余計なものを買わないようにしています。個人でやると本当に小さなこ

とですが、日本中で、そして、世界中の人々がやれば、きっと二酸化炭素排出が抑えられると思います。これは地球を健康にする本当に大切なことなので、私はこれからも実践していきます。

近年、省エネに取り組もうとする意識が高まっているように思います。企業はエコ自動車やエコハウス、エコ家電などを開発し、私たちがそれを進んで買う。冷房室を減らすためにクールビスという言葉も生まれました。私たちの学校や家庭でも、節水や節電をこころがけています。

日本は以前、店や工場の稼働時間を長くしエネルギーをたくさん使って利益を出し、私たちは便利な物や居心地がいい空間をほしがっていました。その代償として、近年、猛暑や集中豪雨などの人の命に関わる異常気象が頻繁に起きています。炭素税という地球温暖化防止のための税があることを認識した上で、一人ひとりが二酸化炭素を出さない努力をしていく必要があるのです。早く元の美しい地球を取り戻すために。